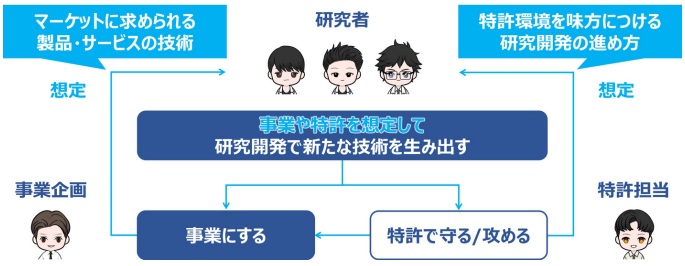
知財研修用動画教材（研究開発担当者向け）

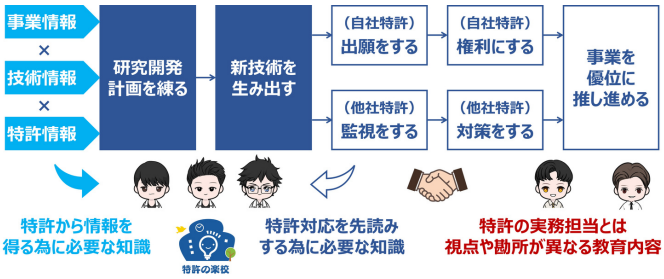
- 研究開発活動に知財機能を実装する技術者向け基礎教材の決定版 -

1.サービスコンセプト

技術立脚の事業を営む企業では、事業企画、研究開発、特許、各職務を担当するメンバーが一致協力して仕事を進めることが大切です。研究者が研究開発によって新たな技術を生み出し、事業企画と相談しながら事業化を目指していきます。事業化の過程では自社技術の差別化戦略や協調戦略の実行が必要であり、特許はその守りと攻めの要となるものです。その際、研究者自身が将来想定（マーケットに求められる製品サービスの技術とは何か、特許環境を味方につけるにはどのように研究開発を進めれば良いか）を起点としながら技術を生み出していくことが、最も理想的な流れと言えます。

事業、技術、特許情報を事前にインプットして将来想定を行い、研究開発の計画を練ることが極めて重要です。その上で新技術を生み出していき、自社特許出願や権利化、関連する他社特許への対策を行うことによって、事業を優位に推し進めます。このような「知財機能を実装した」研究開発活動を行うには、研究開発の道筋を決める上で特許から情報を得るために必要な知識、特許対応を先読みし研究開発段階ではどのような仕込みをしておくべきかを想像するための知識が必要となります。特許の実務担当とは視点や勘所が異なる教育内容となり、本動画教材はその点を支援することをコンセプトとしたサービスとなっております。

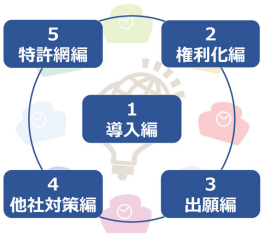




昨今、世の中の知財活動の多様化に伴って、特許担当に期待される仕事の幅も拡がって参りました。その中でも付加価値が高いとされるのは、普遍的なものとしては専門性の高い特許実務、トレンドとしては特許環境の分析と提案の重要性が増してきています。その際、研究者との間に目的や戦略において認識のずれが生じておりますと、いくら専門スキルを発揮して特許実務に取り組んだとしても、蓋を開ければ実務成果が事業貢献と符号していないということになります。また、特許環境特有の分析に基づく提案を示したとしても、研究開発側と焦点が合わずに置き去りになってしまうことも往々にしてあります。そのような場合には研究者へのヒアリングやキャッチアップを繰り返すことになり、リソースが消耗した結果、定常的な専門実務を回すことで手一杯という状況に陥ります。

そこで、目的や戦略について、どれだけ共通認識化を図れるかが肝になっていきます。そのためには、研究者と特許担当というフィールドの異なる専門人材同士のコミュニケーションの架け橋となるような共有知識体系が必要です。事業や技術に関する対話のための基礎知識は共有されていても特許については抜け落ちていることも多く、土台となる日常会話から遅れをとってしまう影響は想像以上に大きいものです。知財の楽校がご提供する知財研修用動画教材は、専門用語とテキストベースの知識体系がひしめく知財業界の中で随一の図解力を駆使し、研究開発担当者への浸透力を高めた教材となっております。皆様の組織内で特許の共有知識を「普及」レベルに押し上げるご支援をさせて下さい。

2.パッケージ内容



全部で5つのパッケージ構成

各パッケージは10～20分の短編動画4～5本

1導入編のみでも基礎固め可能な内容

2～5は各社の希望により順次個別に購入可能

図解を紙面化したハンドアウト資料をセット提供

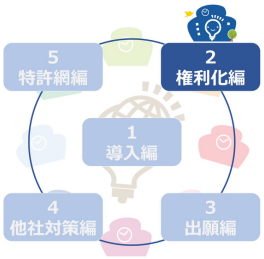
1-1 研究開発に特許が大切な理由

1-2 特許は陣取り合戦

1-3 特許は早い者勝ち

1-4 特許の読み方のポイント

1-5 特許の調べ方のポイント

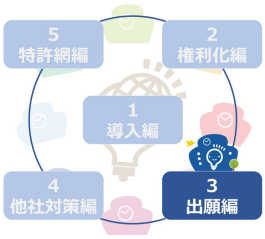


2-1 特許の権利化の位置付けと方法

2-2 特許の審査攻略法①（新規性）

2-3 特許の審査攻略法②（進歩性）

2-4 特許の審査攻略法③（記載要件）



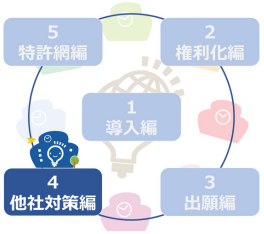
3-1 特許出願の目的と進め方の全体像

3-2 特許出願と秘匿化（発明の保護ルート）

3-3 特許出願の①構想（発明提案書）

3-4 特許出願の②設計（出願依頼書）

3-5 特許出願の③具現（出願明細書）



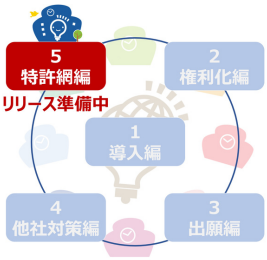
4-1 他社特許対策の位置付けと全体像

4-2 他社特許の調査（侵害予防/無効資料）

4-3 他社特許のスクリーニング

4-4 他社特許への対策実行手段

4-5 他社特許の監視とマネジメント



5-1 特許「網」構築の意義（仮）

5-2「技術」視点の特許ポートフォリオ（仮）

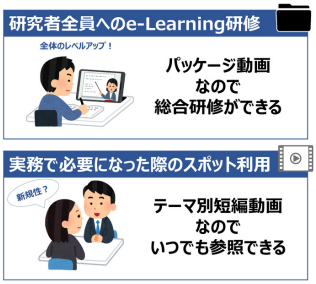
5-3「場所」視点の特許ポートフォリオ（仮）

5-4「時間」視点の特許ポートフォリオ（仮）

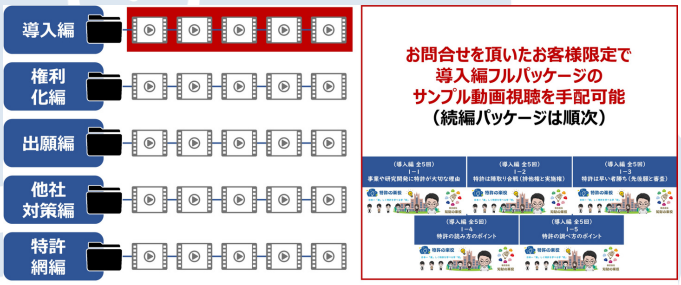
5-5 特許「網」構築の方法（仮）

3.ご利用方法と価格

導入編～特許網編の5大パッケージ編成となりますので、シリーズものとして、研究者全員への総合研修にご利用頂くことができます。細かくテーマ別動画にも分かれておりますので、実務で必要となった時に対応するテーマの動画を事前に参照して貰うことでコミュニケーションが円滑に進みます。無期限・社内での自由な展開可能とのコンテンツ使用許諾条件で、¥500,000/1パッケージでのご提供となります。（動画ファイル自体を納品）



4.サンプル動画視聴



5.お問合せ先

株式会社知財の楽校の公式ホームページ上のお問合せフォームからお願い致します。

直接連絡先　☏ 050-8882-1032　✉ yasunari.tamari@ipamuse.com　ご連絡お待ちしております。

会社概要

株式会社
知財の楽校

商号	：	株式会社知財の楽校 ®（CHIZAINOGAKKO Co., Ltd）
所在地	：	千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番地18クロスレジデンスS2-1
代表取締役	：	玉利泰成（TAMARI YASUNARI）
設立年月日	：	2021年8月4日（創業2021年2月25日）
電話番号	：	050-8882-1032
メール	：	yasunari.tamari@ipamuse.com
URL	：	https://www.patentamuse.com

website　twitter

企業理念

1. **Slogan**　専門人材の共創を刺激してＶＵＣＡ時代のイノベーションを後押しする
2. **Mission**　専門分野の間に橋を架ける共有知識体系を創り出し世の中に浸透させる
3. **Vision**　知財教育サービスを通じて知財機能を実装した研究開発活動を普及する
4. **Value**
   - ○　自ら専門分野で研鑽しエッセンスを体得する
   - ○　表現力を追求し多彩なコンテンツを生み出す
   - ○　プラットフォーマーとなり普及までやり抜く
   - ○　事業感覚のある専門人材が育つ働き方を示す

事業内容

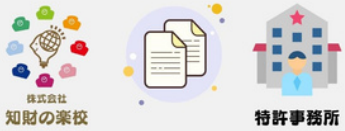
知財研修用動画教材
（研究開発担当者向け）

研究開発活動に知財機能を実装する
技術者向け基礎教材の決定版

知財研修用動画教材
（新人知財担当者向け）

事業・研究開発目線の企業知財
専門実務志向の事務所知財
両視点で基礎を固める教育プログラム

知財サービス資料コンサル
（特許事務所向け）



知財業界随一の図解力を駆使して
現役企業知財担当の目線から
顧客に刺さるサービス説明資料を提案

その他フルオーダーメイドでの各種知財関連コンテンツの制作も承っております ☞ 詳細は弊社HPへ